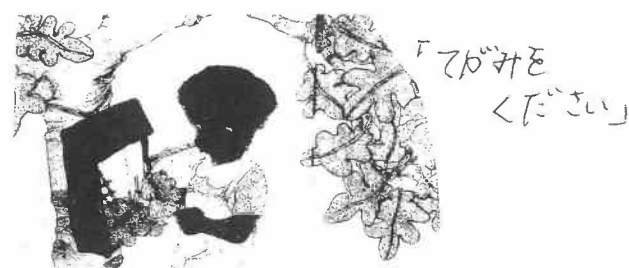


3月の 園便り



2020年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

子どもたちは心が広くて、ほんの少し何かをしてあげただけで、ものすごく親しみを持ってくれるのです。本当にありがたいことです。

最近、青ばらのたすく君と遊ぶことがあって、たすく君はとても好意的な接し方をしてくれます。新聞紙を使って職員室で遊んだ時、たすく君は自分で新聞紙を丸めて棒を作りました・・・そして・・・星の子の時間になった時、職員室にやってきて「園長先生、すみませ〜ん、あの〜仕事してるのにすみませんが、はるくんが、僕が作った棒とおんなじのが欲しいって言うんで、作ってもらえませんか・・・」と新聞紙をもって、腰をかかめて、手を合わせ、丁寧語で低姿勢・・・(たすく君の様子にそばにいた藤田も目を丸くして笑いをこらえてる)・・・こんなに丁寧でしかも相手の立場を気遣うという、まるで社会人のような言葉と姿勢をもって頼みに来ました。(ほ〜、いつの間にこんなことを学んでいたの?と思いました) たすく君は、元気で明るく、けんかつ早く、ストレート...どちらかというと「ド」をつけたストレート(すみません!)でも、とても面白くて私の好きなタイプなのです(ばあさんに好きと言われても嫌ですよね、すみません) 元担任と現担任曰く「慣れるのに時間がかかるのですが、慣れると本当に可愛い面を出すことができます、可愛いんです」と言っていました、さすが、子どもたちのいろいろな面を知っています。たすく君にかかわらず、人に慣れるのに時間がかかる子どもたちは、たくさんいます。そういう子どもたちは、なかなかいい面を出せないし、いい面を知ってもらえないことが多いのです。人間はみんな、いろいろな面を持っています。たとえば言うなら、子どもは“ダイヤモンド” カットされた面がたくさんあるから、光を受けるときらきらと輝くことができます。大人は、子どもというダイヤモンドの、たった一つの面だけを見て、あれこれと言うことがあります、まだまだたくさんの面を持っているのです。その一つ一つに光を当てて、いろんな面が見えるようにしていくのは、私たち保育者の仕事だと思っています。子どもたちの“面”の豊かさを伝える役です、あの子は今日こんなことを言ってたよ、この子はあんなことしていたよ...と普段気づけない面も知らせていきます。子どもたちには、幼稚園でいろいろな友だち、そしていろいろな保育者に親しんでもらいたいと思っています。その一人一人とのかかわりが経験となって、これから学校に行っても、自分をうまく表現できるようになり、積極的に人を知ろうとするようになってくれたらと願いを持っています。幼児期に“人格の基礎を作る”と何回も繰り返してっていますが、子どもたちは幼稚園の集団生活を通して、“人”としての基礎を学んできました。友だちとケンカしたり、笑ったり泣いたり驚いたり、青陵で学んだことを心に刻んで学校という大きな社会へ出て行ってほしいと願っています。

3月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	日	/	/	
2	月	○	2:00	
3	火	○	2:00	令和2年度の新入園児さんのお楽しみ会を行います。
4	水	○	2:00	
5	木	○	2:00	
6	金	○	2:00	
7	土	×	11:30	自由登園日です。
8	日	/	/	
9	月	○	2:00	
10	火	○	2:00	
11	水	×	11:30	誕生会です、3月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう
12	木	○	2:00	
13	金	○	2:00	
14	土	/	/	第2土曜日 (青ばらさんが卒園を祝う会を行います)
15	日	/	/	
16	月	○	2:00	
17	火	○	2:00	
18	水	○	2:00	もも組、赤ばう、白ばうさんが一緒に、青ばうさんおめでとうの会を行います。
19	木	×	11:30	第3学期、終業式を行います
20	金	/	/	第53回修了式を行います。もも組、赤ばう、白ばうさんはお休みです。
21	土	/	/	振替休日です。本日より春休みです。
22	日	/	/	
23	月	/	/	星の子さんは行います。ご利用ください。
24	火	/	/	〃
25	水	/	/	〃
26	木	/	/	〃
27	金	/	/	〃
28	土	/	/	第4土曜日
29	日	/	/	
30	月	/	/	星の子さんは行います。ご利用ください。
31	火	/	/	〃